

整理番号	HT29271	分野	地学・自然	キーワード	微化石, 有孔虫, 珪藻, 堆積物
------	---------	----	-------	-------	-------------------

研究機関名	島根大学			
プログラム名	湖底の堆積物(泥)を使って、100年・1000年前の中海の環境を調べてみよう!			
先生(代表者)	瀬戸 浩二(せと こうじ) 研究・学術情報機構 エスチュアリー研究センター・准教授			
自己紹介	専門は、汽水域学です。中海や宍道湖みたいな淡水と海水が混ざるような水域を研究しています。子供のころは、化石が好きでした。1600 万年前のアシカの祖先や鳥の祖先の化石を発見したこともあります。そういう地球の長い歴史に思いを馳せつつ、汽水域の成り立ちや未来を考えています。			
開催日時・募集対象	平成29年7月23日(日) (悪天時の予備日として平成29年7月30日(日))	受講対象者	小学校 5・6年生	募集人数 20名
集合場所・時間	島根大学 教育学部 1階 多目的実験室 I	(集合時間)	9:00~9:30	
開催会場	島根大学 教育学部 多目的実験室 I および中海(船上実習を行います) 住所: 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 アクセスマップ: http://www.shimane-u.ac.jp/access/			



内 容

海や湖の底にたまっている泥には、いろいろな時代の水の中の出来事が歴史の教科書のように記録されています。中海を例として、湖の底にたまっている泥を採取して、昔の人が見ていた数十年前から約1000年前の中海がどんな湖であったのか、みなさんを昔の水中世界へご案内します。実際に船に乗って泥をとり、顕微鏡を使って泥に含まれる生きものの化石を観察しながら現在の湖と比較します。



湖底の泥の中にはどんなものが入っているのだろう??
みなさんを昔の水中世界へご案内します。

スケジュール	持 ち 物
9:00～9:30 受付(島根大学教育学部 1階多目的実験室 I)	・筆記用具 ・お弁当
9:30～10:00 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)	
10:00～10:30 借り上げバスにより観光船「はくちょう号」へ	特 記 事 項
10:30～13:00 船舶による採泥実習(途中船内で昼食)	
13:00～13:30 借り上げバスにより教育学部(松江キャンパス)へ	
13:30～13:50 講義①「地層から昔の環境を読み取ろう！」	
13:50～14:10 講義②「微化石から探る過去の地球環境」	
14:10～15:10 採取した堆積物の処理と観察①	
15:10～15:30 茶菓子休憩と講師・大学生との懇談会	
15:30～16:30 採取した堆積物の処理と観察②	
16:30～17:00 修了式(アンケートの記入、未来博士号授与)	
17:00 終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

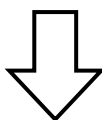
所属・氏名：	島根大学 教育学部 辻本 彰(つじもと あきら)
住 所：	〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
TEL 番号：	0852-32-9876
FAX 番号：	0852-32-9876
E - m a i l：	tsujimoto@edu.shimane-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年7月12日(水)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、〇月〇日()までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
瀬戸浩二	H20 ~ H22	基盤研究(B)	20340138	海跡湖に記録された小氷期以降の 汎世界的な環境変動と人為的環境 変化



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。